

六甲山自然案内人の会 22年1月度定例観察会報告書

実施日 平成22年1月10日(日)

コース 太山寺 北側の背山

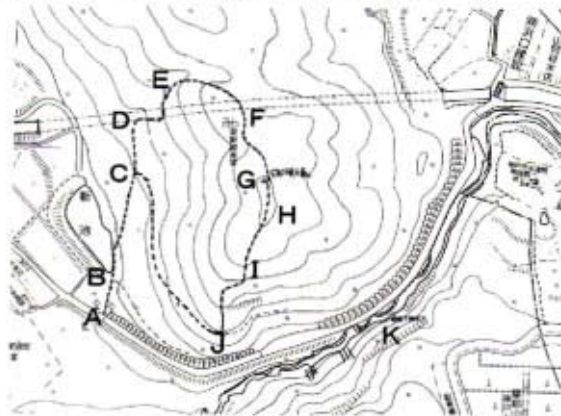
参加人数 会員20名 ビジター51名 計71名

【観察テーマ】

- ・西日本の原生林(極相林)の典型を見る。
- ・コジイとウバメガシの見事な棲み分けを見る。

※極相林・・・人の手が加わったり、気候変動などがない限り、森林を構成する樹木の種類がほぼ永久に変わることがない森林の状態のこと。
西日本では極相林を形成する樹種はシイ・カシの仲間であるといわれている。

【観察ポイント】(コース地図参照)



◆山全体の姿

- ・真冬にもかかわらず山を覆う樹木は青々している。
常緑樹に覆われた山であることが分かる。
- ・しかもその表面はブロッコリーをびっしりと並べたようにモコモコしている。
シイ、カシ特有の樹形によるものである。



北側の背山

◆登り口(A地点)からD地点まで

- ・高木はコジイ(ツブラジイ)、アラカシそして数は少ないが落葉樹のアベマキなどである。
- ・低木にコジイ・アラカシの幼木、カナメモチ、カクレミノ、ヒメユズリハ、ヤブツバキ、アオキ、ツルグミ、リンボクの幼木そして落葉樹のイヌビワなどがある。